

# コメント

## 聞き取り調査より探る現代の四国遍路

竹川 郁雄

現代の四国遍路がどのように行われているのか、その現状を探るために松山市の畑寺町にある50番札所繁多寺において、四国遍路をする人を対象に聞き取り調査を実施しました。調査は自動車や徒歩などで札所をめぐる人々に対して、その場で質問用紙に自分で記入してもらったり、こちらで読み上げて回答していただくという形で行いました。実施は、2006年3月17日～4月14日、及び2007年9月21日～28日で、調査の延べ人数は1035人でした。この調査結果について報告し、議論のたたき台としていただきたいと思います。

まず、男女の比率は男性56.3%、女性43.7%となり、男性の方がやや多くなっています。次に年代は、10代が0.8%、20代5.4%、30代5.1%、40代5.4%、50代17.4%、60代40.4%、70代25.5%となっています。60代と70代合わせて65.9%を占め、お遍路さんの3分の2近くが高齢者ということになります。次に、「どちらから来ましたか」と出身を尋ねた質問では、多いもの順に、1.愛媛 2.大阪 3.愛知 4.香川 5.兵庫 6.徳島 7.広島 8.岡山 9.千葉 10.東京となりました。四国の他に、都市部から多くの人々が来ていることがわかります。利用する交通手段では、自家用車が52.9%と半数を超え、歩き遍路は10.0%と全体の1割でした。

遍路のきっかけについては、1番目「親や親類の人が遍路をしていたので」13.2%、2番目「人に勧められて」12.5%、3番目「自分の健康上の問題」11.8%、4番目「退職」10.9%、5番目「身近な人の死から」10.2%、6番目「特にない」8.2%、7番目「本などで読んで」6.6%、8番目「募集や催しを知って」4.9%、9番目「毎年のことなので」3.9%、10番目「子どもや家族の問題があるので」3.1%です。「その他」というのも設けておりますが、「その他」は比率的にはかなり高くなっておりました。具体的に書き込んでいただくというようなことをいたしましたけれども、1番から10番までに載っているような中に入るようなものも多かったと思います。いろんなきっかけでみなさん遍路を巡るということが理由かと思えます。このあたりはあまり傾向性がない感じがいたします。

次に遍路の目的ということで、ここではこれを重視してとりあげていきたいと思えます。単純集計で集計しましたところ、次のようになりました。先ほどの「きっかけ」もそうなのですが、これもいくつでも選んでくださいというような形、多重回答で選んでもらっております。ですから、全部足すと100%を超えるというようなこととなりますけれども、該当者分の回答者という比率で示しております。そうしますと1番が「先祖・死者の供養」というのが36.3%、これが非常に高くなっており、3分の1以上の方がそう答えておられます。それから2番「健康のため」というのが28.1%、それから3番目「祈願・大願成就」というのが21.6%、4番目が「精神修養」17.8%、5番目が「信仰」で13.5%、それから6番目が「観光」で10.7%、6番目「自分の生き方と向かい合うため」が同じく10.7%、8番目が「病気の治療・治癒」で7.1%、それから9番目「挑戦・チャレンジ」が6.2%、10番目が「人との交流」で5.4%です。こういう全体の単純集計の比率では、こういう割合になっておりました。ですから先ほども言いましたように1番目の「先祖・死者の供養」というのが非常に高く表れている数かというふうに思います。こういう選択肢で選んでいただいております。最後に「その他」というので、それ以外にありましたら回答してくださいというふうに言っているのですけれども、前の2006年のときも申し上げたのですが、気になりますことは、早稲田大学で同じようにやっているものの中で、「家内安全」というのがかなり高い率で出ております。我々のこの調査では、それを選択肢の中に入れておりませんので、もし入れていたら高い比率になっていたかもしれません。そういうことがあるかと思えます。「その他」を入れておりますので、本当にそういうことを目的としておられる人はそう記入されるだろうと思ったのですが、2006年の春に実施しましたときは、6名の方が「その他」の中で「家内安全」と書かれておりました。しかし、2007年の秋の方では、もう1名もいなかったというようなことで、そのあたり、どういうふうに考えたらいいかとと思っている次第であります。

それから8番目は交通手段別遍路目的の傾向ということで、これは2006年のシンポジウムのときの結果をここに再度載せているのですが、分析の結果こういう特徴がみられるということでお示しするものです。先ほどみましたように、目的は「先祖・死者の供養」なんかは非常に高いですので、それは手段によらずにかなりでてくる傾向がございます。時間がありませんのでざっと目を通しますと、自家用車で高かったのは「先祖供養」それから「健康のため」、低かったのが「人との交流」、それから「チャレンジ・挑戦」。団体バスで

高かったのは「供養」、「祈願」、「大願成就」、低かったのが「観光」、「人との交流」。それからマイクロバスで高かったのは「供養」、「信仰」、「健康」、低かったのが「観光」、「挑戦」、「生き方」。タクシーで高かったのは「供養」、「信仰」、「観光」、低かったのは「挑戦」、「健康」、「精神修養」。「健康」と「精神修養」は相対的に高いということで掲げています。それから徒歩で高かったのは「健康」、「生き方」、「挑戦」、「交流」、低かったのは「信仰」、「祈願」、「治療」と、こういう形でしております。こういう交通手段で多く集計しておりますと、それぞれの特徴が出てくると思います。歩き遍路であればやはり「人との交流」とか「挑戦」とか「生き方」など、そういうふうなものが人気として出てくるのだろうというふうに思います。

それから以下は年代別にみた四国遍路ということであげています。年代の高い順からあげているのですけれども、ハンドアウトの裏をめくっていただきますと、以下60代、50代、40代、30代、10代、20代というふうと同じ形式で全部挙げさせていただきました。それで先ほど遍路目的で10番目まで順位をあげましたけれども、そのうちのほとんどは人数が多い60代の人たちの順位と一致するというかたちになっております。特に、5番目までは、70代、60代、50代のすべてで同じ順番になっております。1番が「先祖・死者の供養」、2番目が「健康のため」、3番目が「祈願・大願成就」、それから4番目が「精神修養」、5番目が「信仰」と、こういう順序で目的として選んだ方が、50代まではよくおられるということでございます。ただ下の方になってきますと50代になりますと、「自分の生き方」とか「観光」とか、こういったところがかなり高くなっているということが言えると思います。

それから次の40代になりますと、かなり傾向が変わってきまして、「先祖・死者の供養」というのは依然として高いですけれども、「健康のため」というのが4番目になっております。40代だとまだ健康のためではないということなのかもしれません。そのあたりは少し違いますけれども、若い世代の人たちと連続しているという感じがあります。

次の30代になりますと、かなり変わってくるわけでありまして。一番高いのは「祈願・大願成就」という比率になっております。その次が「先祖・死者の供養」、それから「自分の生き方と向かい合うため」、そして「観光」というのが高い比率で表れています。そして「精神修養」とか「信仰」とかは低いということです。

さらに10代20代は、最初に言いましたように年代別では、人数が非常に少ないのですけれども、「観光」というのが一番高いというかたちになっており、その次に「祈願・大願成就」、それから「精神修養」、このあたりが次に高いということがいえます。そして「信仰」は非常に低いというようなことがわかります。これについて少し考えるところもあるのですけれども、ここで私の持ち時間15分がきましたので、以上で私の発表を終わります。

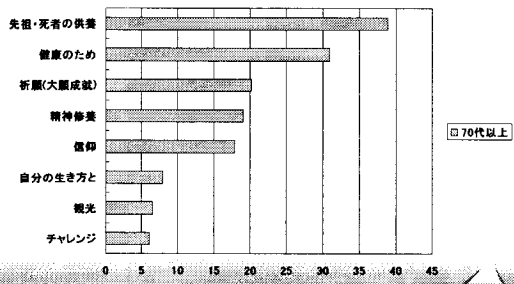
### 遍路のきっかけ

- |                       |        |
|-----------------------|--------|
| ◆ 1. 親や親類の人が遍路をしていたので | 13. 2% |
| ◆ 2. 人に勧められて          | 12. 5% |
| ◆ 3. 自分の健康上の問題        | 11. 8% |
| ◆ 4. 退職               | 10. 9% |
| ◆ 5. 身近な人の死から         | 10. 2% |
| ◆ 6. 特にない             | 8. 2%  |
| ◆ 7. 本などで読んで          | 6. 6%  |
| ◆ 8. 募集や催しを知って        | 4. 9%  |
| ◆ 9. 毎年のことなので         | 3. 9%  |
| ◆ 10. 子どもや家族の問題       | 3. 1%  |

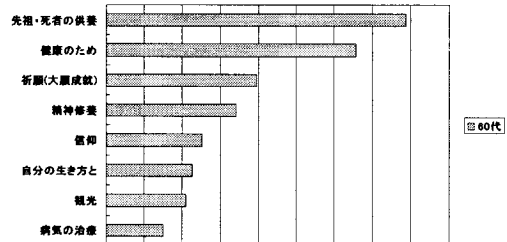
### 遍路の目的

- |                     |        |
|---------------------|--------|
| ◆ 1. 先祖・死者の供養       | 36. 3% |
| ◆ 2. 健康のため          | 28. 1% |
| ◆ 3. 祈願 大願成就        | 21. 6% |
| ◆ 4. 精神修養           | 17. 8% |
| ◆ 5. 信仰             | 13. 5% |
| ◆ 6. 観光             | 10. 7% |
| ◆ 6. 自分の生き方と向かい合うため | 10. 7% |
| ◆ 8. 病気の治療(治癒)      | 7. 1%  |
| ◆ 9. チャレンジ          | 6. 2%  |
| ◆ 10. 人との交流         | 5. 4%  |

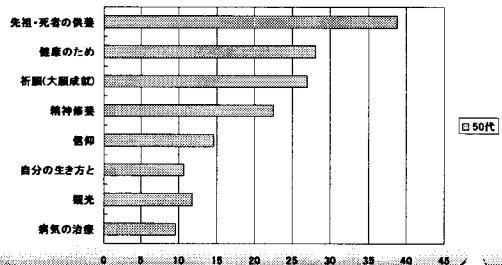
### 70代以上の人の遍路目的



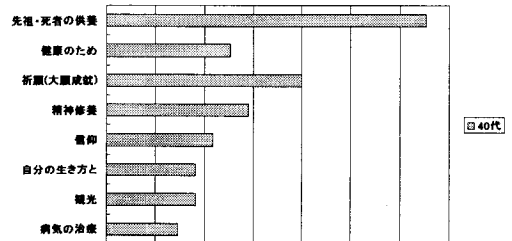
### 60代の人々の遍路目的



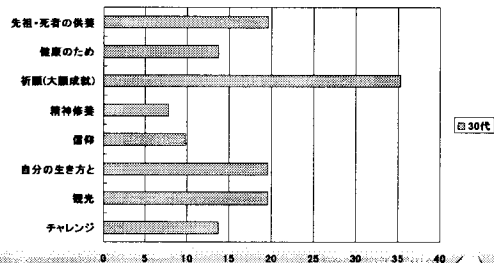
### 50代の人々の遍路目的



### 40代の人々の遍路目的



### 30代の人々の遍路目的



### 10, 20代の人々の遍路目的

